



2011年8月19日

お客様向け資料

BNP パリバ インベストメント・パートナーズ株式会社

2011年8月18日のブラジル株式市場の値下がりについて

市況概況：

2011年8月18日のボブスパ指数は、指数構成銘柄66銘柄のうち59銘柄が値下がりするほぼ全面安の展開となり、前日比3.5%下落となる53,134.1で引けました。

この日発表された米国の経済指標が市場予想より悪い内容となったことや、銀行が資金調達難に陥るおそれがあるとスウェーデン当局者が警告したこと、また一部で米国金融当局が欧州大手銀行の米国事業を調査しているとの報道が為されたことなどを受けて、銀行株を中心に欧米株式市場は大きく値を下げる展開となり、ブラジル市場も資源株を中心に大きく売られました。

原油先物価格（WTI）は、期近先物が続落し、1バレル=81.56米ドル（出所：ブルームバーグ、8月19日午前8時3分現在）となり、商品もCRB指数が前日比2.3%安の326.42で取引を終了しました。

18日のブラジル市場で株価の下落が特に目立ったのが資源株で、鉄鉱石大手のヴァーレは前日比5.0%安となり、石油株のペトロブラスは前日比4.2%安、OGXは5.8%安と値を下げています。鉄鋼株もウジミナスが3.6%安となるなど軟調な動きとなりました。

そのほか、イタウ・ユニバンコ（4.3%安）やブラデスコ銀行（4.0%安）などの銀行株やPDGリアルティ（7.0%安）などの不動産株も売り込まれる展開となりました。

為替市場でも、ブラジルレアルはやや反落し、対米ドルでは1米ドル=1.600レアル、対円ではほぼ横這いの1レアル=47.95円で推移しています。（出所：ブルームバーグ8月19日午前8時40分現在）。

本資料は、BNPパリバアセットマネジメントブラジルが作成した資料をもとに、BNPパリバインベストメント・パートナーズ株式会社が、ブラジル市場に関する当社の見解を提供することを目的として、2011年8月19日に作成したものであり、法律に基づいた開示資料ではありません。本資料における統計等は、当社が信頼できるとされる外部情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性や完全性を保証するものではありません。本資料中の数値、図表、見解や予測などは本資料作成時点でのものであり、予告なく変更する場合があります。尚、本資料中の過去の実績に関する数値、表、見解や予測などを含むいかなる内容も将来の運用成績を保証するものではありません。



今後の見通し

ブラジルでは、インフレ懸念の台頭から、年初来5回の政策金利の引き上げが行われ、それに伴い、与信残高の伸び率が鈍化しており、景気サイクルは踊り場にありま。さらに、世界経済、特に米国経済の一層の減速懸念から、先行きに対する不透明感が高まっています。

一方で、ブラジルの金利水準は世界的に見ても高く、景気の下支えが必要な場合は金融緩和策をとることが比較的容易であるほか、銀行セクターの自己資本比率は平均で16.9%（BIS基準は8%以上）であることから、ブラジルの銀行は財務体質が健全であると考えられます。

こうしたことから、ブラジル経済は成長率が鈍化するものの、マイナス成長などの大幅減速に至る可能性は低いと見ています。

ただ、足元では米国が再びリセッション（景気後退）入りする恐れがあるとの懸念や、欧州債務危機がイタリアやスペインに波及しつつあるのとの懸念により、先行き不透明感が高まっていることから、当面はブラジル市場につきまして慎重な見方をとってまいります。

ボブスパ指数の推移

(2008年1月2日 - 2011年8月18日)



通貨レアルの推移

(2008年1月2日 - 2011年8月18日)



※ 上記のコメントは、本書面作成基準日のものであり、将来の市場環境の変動等により、当該運用方針が変更される場合があります。

本資料は、BNPパリバアセットマネジメントブラジルが作成した資料をもとに、BNPパリバインベストメント・パートナーズ株式会社が、ブラジル市場に関する当社の見解を提供することを目的として、2011年8月19日に作成したものであり、法律に基づいた開示資料ではありません。本資料における統計等は、当社が信頼できると思われる外部情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性や完全性を保証するものではありません。本資料中の数値、図表、見解や予測などは本資料作成時点でのものであり、予告なく変更する場合があります。尚、本資料中の過去の実績に関する数値、表、見解や予測などを含むいかなる内容も将来の運用成績を保証するものではありません。